PCP-1300
プリン写ル

取扱説明書
入門編

● 操作を始める前に、本書の「準備をしましょう」をご覧ください。
● 本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を別冊の取扱説明書「応用編」に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。
● 本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

準備をしましょう 3ページ

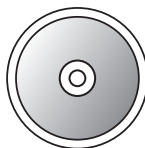
はがきの宛名印刷 11ページ

はがきの文面印刷 28ページ

写真の印刷 37ページ

こんなときは、どの説明書を読む？

本機の説明書は次の４種類です。目的に合わせてお読みください。

本機をお使いになる前にご覧ください

早わかり DVD

本機の使いかたを映像でわかりやすく説明しています（再生時間：約 32 分）。

基本的な使いかたを知りたい

（本 書）

取扱説明書 入門編

本機を使うための基本的な操作をやさしく説明しています。

詳しい使いかたを知りたい

取扱説明書 応用編

本機のすべての機能と操作方法を掲載しています。

どんなイラストやデザインがあるか知りたい

デザインカタログ

本機に内蔵されているデザインやイラストを見ることができます。

目次

こんなときは、どの説明書を読む？………………………　表紙の裏

箱の中身を確認してください……………………………………　2

準備をしましょう……………………………………………………　3

はがきの宛名印刷……………………………………………………11

作業の流れ …………………………………………………………… 12
宛名を登録する（住所録の作成） ………………………………… 13
差出人を登録する …………………………………………………… 18
印刷する ……………………………………………………………… 22
お役立ち情報 ………………………………………………………… 26

はがきの文面印刷……………………………………………………28

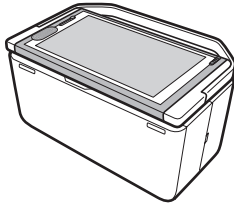
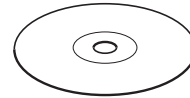
文面作成（カンタン作成）の種類………………………………… 28
イラスト入りの文面を作る ………………………………………… 30
写真入りの文面を作る ……………………………………………… 33

写真の印刷……………………………………………………………37

写真を印刷する ……………………………………………………… 38
そのほかにできること（写真の印刷） …………………………… 41

箱の中身を確認してください

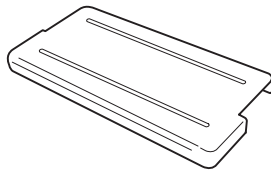
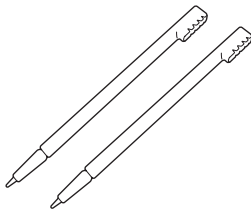
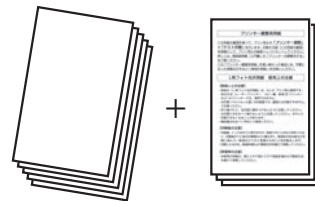
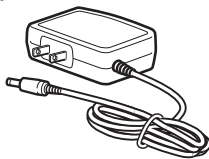
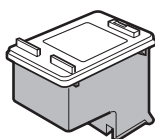
お買い上げいただきました箱の中に、次のものが入っているか確認してください。
足りないものがあるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

本　体

タッチパネル保護カバー
本体に装着されています。

タッチペン　2本

ACアダプター
（AD-3207S）

お試し用プリントカートリッジ
HP110

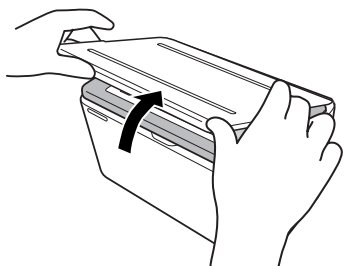
早わかりDVD

・本　書
・取扱説明書「応用編」（保証書付）
・デザインカタログ

L判フォト光沢用紙　5枚
＋
プリンター調整用用紙　3枚

はがきサイズ用紙　５枚

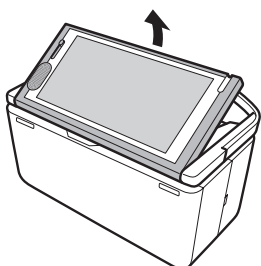
2L判フォト光沢用紙　３枚

準備をしましょう

本機をお使いいただくための準備について説明します。

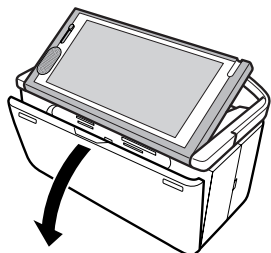
1 本体の画面とキーボードをセットする

1 タッチパネル保護カバーを手前側からはずします。

2 表示画面の角度を調整します。

見やすい角度に合わせてください。

・画面を固定して使用することもできます（取扱説明書「応用編」17ページ）。

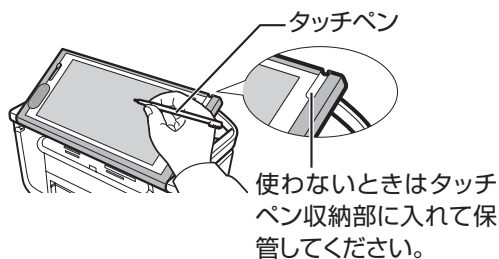
重要 「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

3 キーボードを開きます。

本体上部を押さえながら、キーボードを開きます。

● **キーボードを閉じるときは**

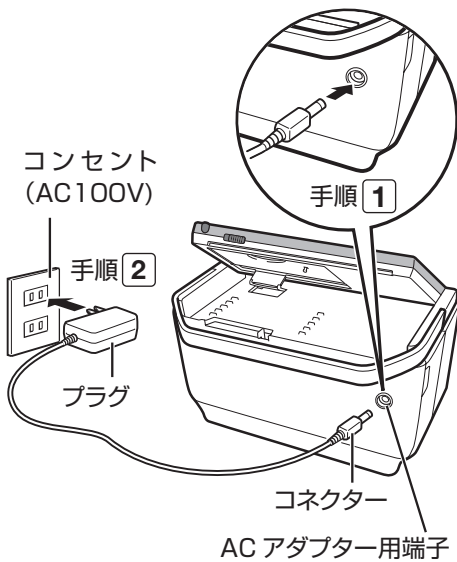
キーボードをカチッと音がするまで押し上げます。

表示画面（タッチパネル）について

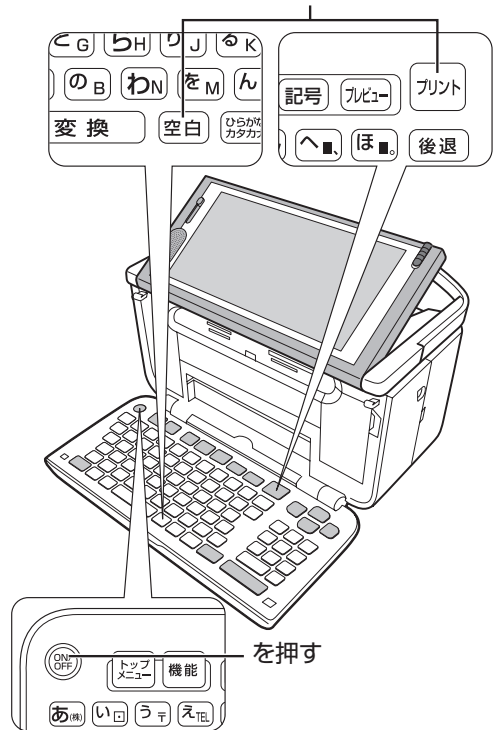
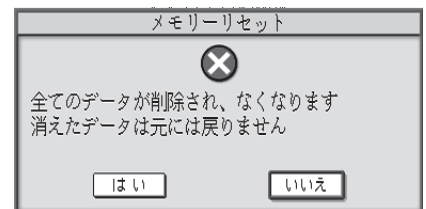
本機はタッチペンで表示画面（タッチパネル）にタッチして操作することができます。タッチパネルに表示された項目をタッチして選んだり、キーボードの実行（進む）を押すかわりに画面の「実行」をタッチして操作を進めることができます。

タッチパネルの操作については、取扱説明書「応用編」37ページをご覧ください。

2 AC アダプターを接続する

1 付属のACアダプターのコネクターを本体に接続します。

2 AC アダプターのプラグを、ご家庭用のコンセント（AC100V）に差し込みます。

3 リセット（初期化）をする

重要
- はじめてプリン写ルをお使いになるときは、必ずリセット（初期化）を行ってください。
- リセット（初期化）を行うと、ご購入後に登録したデータがすべて消えたり、設定がお買い上げ時のものに戻ってしまいます。必要のないときは、絶対に行わないでください。

1 電源が切れている状態で プリント 空白 をいっしょに押しながら、ON/OFF を押し、しばらくして ON/OFF だけ指を離します。リセット（初期化）の確認メッセージが表示されたら、プリント 空白 から指を離します（表示されるまで時間がかかる場合があります）。

電源が入り、リセット（初期化）の確認メッセージが表示されます。

重要 確認メッセージが消えてしまった場合は、ON/OFF を押して電源を切り、再度、手順 1 の操作を行ってください。

音声ガイドについて

本機では、音声で操作の説明が流れます（音声ガイド）。➔取扱説明書「応用編」14 ページ

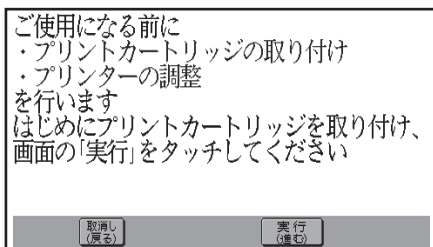
- シフト かな小 機能（音声ガイド）を押すと、直前に流れた音声ガイドをもう一度、聞くことができます。
- 音声ガイドによる説明のない画面もあります。

2 ◀を押して「はい」を選んで 実行（進む）を押します。

リセットが実行され、下の画面が表示されます。

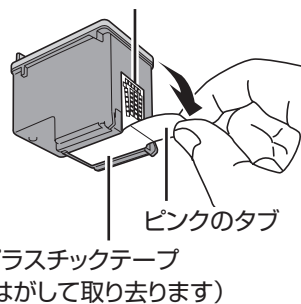
- 「いいえ」を選ぶと、リセットは実行されません。

ご使用になる前に
・プリントカートリッジの取り付け
・プリンターの調整
を行います
はじめにプリントカートリッジを取り付け、画面の「実行」をタッチしてください

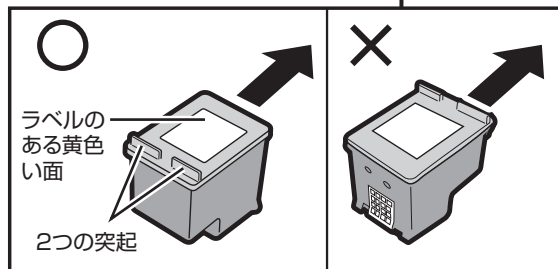
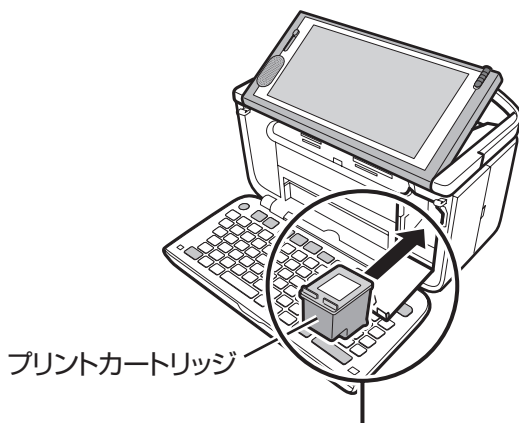
取消し（戻る）　実行（進む）

4 プリントカートリッジを本体にセットする

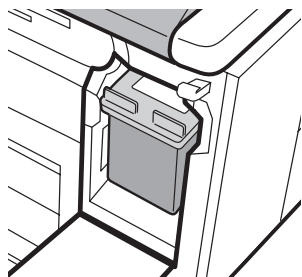
1 付属のプリントカートリッジを袋から出します。

2 プリントカートリッジについているピンクのタブを引いて、透明のプラスチックテープをはがします。

重要 金色の金属フィルム部分は絶対にはがさないでください。プリントカートリッジが使用できなくなります。

3 プリントカートリッジ収納部カバーを開きます。

プリンターが動いて、カートリッジエラーのメッセージが表示されます。

4 プリントカートリッジを収納部にセットします。

ラベルのある黄色い面を上、2 つの突起がある方を手前にして、セットします。

「カチッ」と音がするまで、奥へ押し込みます。

セットされた状態

5 プリントカートリッジ収納部カバーを閉めます。

エラーのメッセージが消えます。

- カバーが開いていると、エラーが表示されます。

プリントカートリッジ 使用上のご注意

- **インクが目に入ったり皮膚に付着しないようにご注意ください。目に入ったり、皮膚に付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。**
- **インクを誤って飲まないようにご注意ください。インクの成分には、硝酸塩が含まれております。万一、インクを飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。**
- **プリントカートリッジは、お子さまの手の届かない所に保管してください。**
- **プリントカートリッジは、改造および再利用しないでください。なお、プリントカートリッジの改造やインクの詰め替えなどによって生じたプリンターおよびプリントカートリッジのトラブルについては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。**

- その他の注意事項については、取扱説明書「応用編」22 ページをご覧ください。

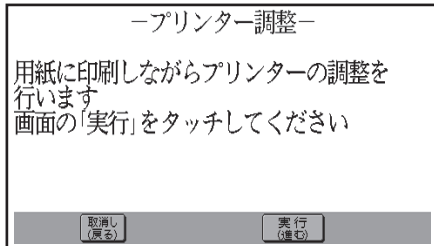
5 プリンターの調整をする

1 プリントカートリッジをセットしたら、[実行(進む)]を押します。

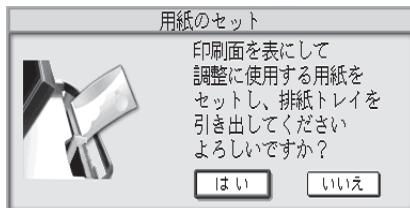
プリンター調整の音声が流れ、メッセージが表示されます。

—プリンター調整—

用紙に印刷しながらプリンターの調整を
行います
画面の「実行」をタッチしてください

[取消し(戻る)]　[実行(進む)]

・表示画面左の音量ボリュームをスライドさせて、音声ガイドの音量を調整してください（取扱説明書「応用編」14 ページ)。

2 [実行(進む)]を押します。

用紙セットのメッセージが表示されます。

6 調整用の用紙をセットする

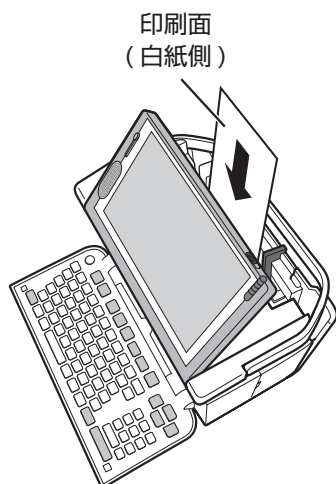
1 付属のプリンター調整用用紙（「L判フォト光沢用紙使用上のご注意」の裏面）を用意します。

・「プリンター調整用用紙」を使い終わった場合は、不要になった郵便はがきなどの「無地の用紙」をお使いください。

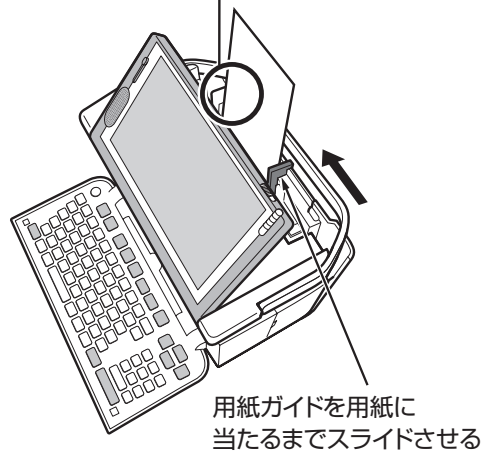
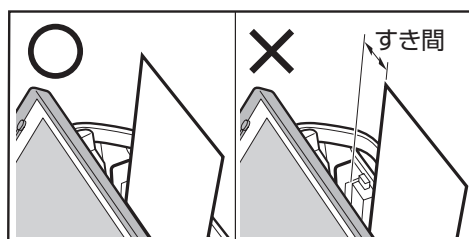
重要 コピー用紙などの薄い紙や、形状が不定形な用紙などは故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

2 給紙トレイを開きます。

3 用紙ガイドを右側に拡げます。

4 プリンター調整用用紙の印刷面（白紙側）を表側にして、左端を挿入口の左端に沿わせて、軽く止まるまで差し込みます。

・用紙が正しくセットできないときは、取扱説明書「応用編」の 26 ページを参照してセットし直してください。

5 用紙ガイドを用紙に当たるまで左側にスライドさせます。

用紙の両端にすき間ができないようにセットしてください。正しくセットしないと、用紙が曲がって挿入され、正しく印刷できないことがあります。

7 プリンターの調整を開始する

1 排紙トレイを引き出します。

2 「はい」が選ばれていることを確認し 実行(進む) を押します。

印刷が始まります。
印刷が終わると時計の設定画面が表示されます。

3 結果を確認します。

・用紙に、緑色の「v」が印刷されていれば、調整は正しく行われています。
・赤色の「×」が印刷されているときは、取扱説明書「応用編」の 168 ページを参照して、もう一度プリンターの調整をしてください。

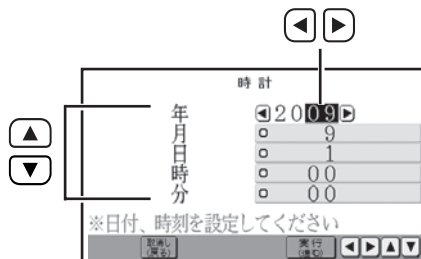
4 排紙トレイを戻します。

重要 キーボードを閉じる前に、必ず排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。
排紙トレイを出したまま、キーボードを閉じると故障の原因となります。

8 内蔵時計の日付と時刻を合わせる

重要 日付と時刻は必ず合わせてください。本機で印刷する年賀状の干支や年号は、内蔵時計に合わせて自動的に選択されます。

1 ▲▼を押して設定する項目を選び、◀▶を押して値を合わせます。

◀▶を押すたびに値が 1（-1）ずつ変化します。(例：2009 年 12 月1日 13 時 45 分に合わせる)

2 実行(進む) を押します。

・日付や時刻を変更したい場合は、次ページの手順 **10** の操作が終了した後に、変更することができます。
➜ 取扱説明書「応用編」167 ページ

9 文字を入力する方法を選ぶ

次の 2 種類の方法があります。入力しやすい方法を選んでください。

• かな入力

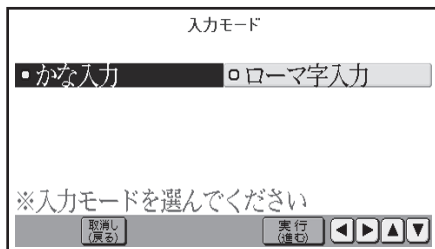
キーに印刷されているひらがなを直接入れる方法です。

例　じろう ➔ [し W][゛ O][ろ :][う ヲ]

• ローマ字入力

キーに印刷されているアルファベットを使い、ローマ字読みでひらがなを入れる方法です。

例　じろう ➔ [り J][よ I][せ R][゛ O][ゆ U]

1 [◀][▶]を押して入力方法を選びます。

2 [実行(進む)]を押します。

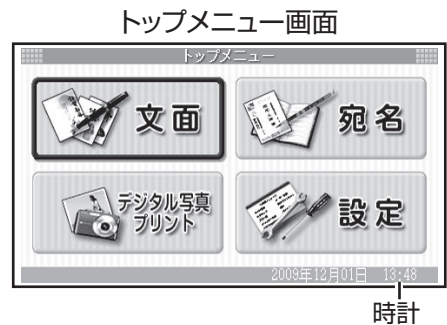
・文字入力方法を変更したい場合は、手順 **10** の操作が終了した後に、変更することができます。➔ 取扱説明書「応用編」166 ページ

10 画面の明るさ（コントラスト）を調節する

1 [◀]（濃く）[▶]（淡く）を押して、見やすい明るさに調節します。

2 [実行(進む)]を押します。

トップメニュー画面が表示されます。画面右下の時計を見て、日付と時刻を確認してください。

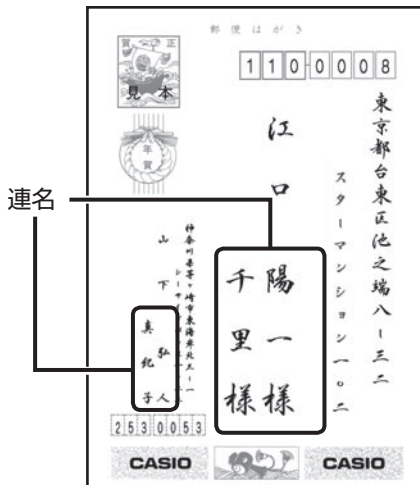
トップメニュー画面

・画面の明るさを変更したい場合は➔ 取扱説明書「応用編」166 ページ

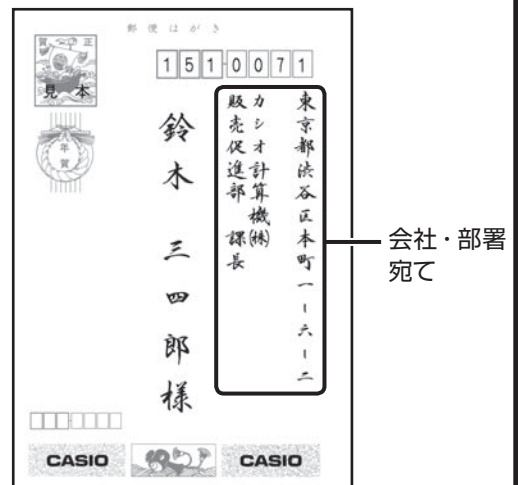
これで本機をお使いになる準備ができました。

はがきの宛名印刷

ここでは、宛名の入力から印刷までを説明します。
下のはがきを例に説明します。

連名の宛名を作りたいときは

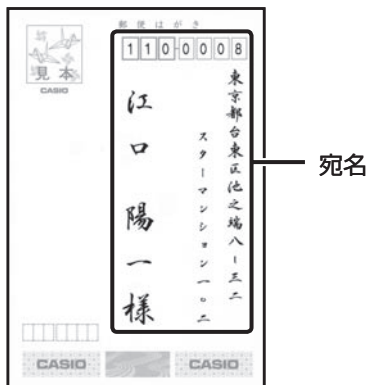
➜取扱説明書「応用編」65、74 ページ

会社・部署宛てに作りたいときは

➜16 ページ

作業の流れ

宛名印刷の流れは、次の通りです。

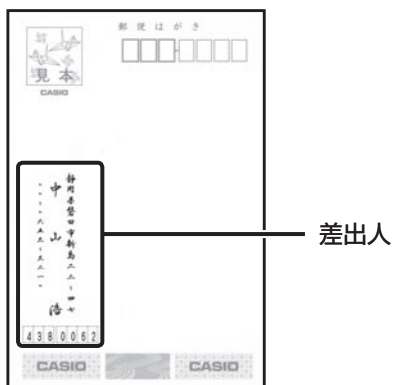
1 宛名を登録する（住所録の作成）

➔ 13 ページ

宛名を入力して住所録を作ります。

2 差出人を登録する

➔ 18 ページ

差出人を入力します。

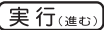
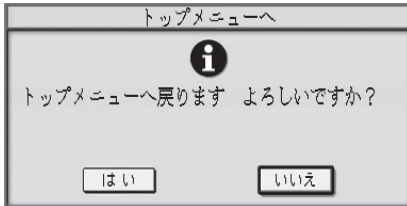
・宛名面に差出人を入れない場合は、この作業は不要です。

3 印刷する

➔ 22 ページ

印刷する用紙の種類、書体（フォント）など、印刷の条件を設定し、印刷します。

・印刷前に画面で印刷結果を確認（プレビュー）することもできます。➔ 取扱説明書「応用編」33 ページ

宛名を登録する（住所録の作成）

① 登録の準備をする

1

トップメニュー を押します。

確認メッセージが表示されます。

2

◀ を押して「はい」を選び、実行(進む) を押します。

トップメニュー画面が表示されます。

3

▲ ▼ ◀ ▶ で「宛名」を選び、実行(進む) を押します。

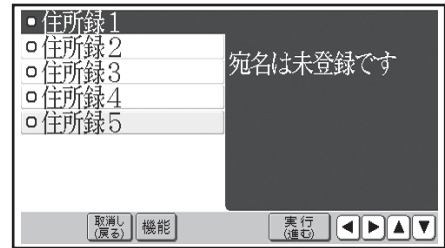
宛名メニューが表示されます。

操作を間違えたときは

取消し(戻る) を押すと、1 つ前の画面に戻ります。

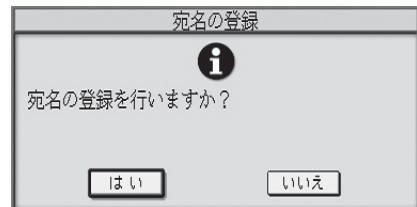
4

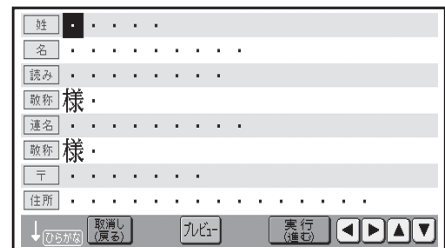
◀ ▶ で「宛名」を選び、実行(進む) を押します。

住所録選択画面が表示されます。

- 「会社」「親類」など用途に応じて住所録を分けたいときに、住所録 1 ～ 5 を使います。ここでは「住所録 1」に登録します。
  詳しくは ➔ 取扱説明書「応用編」65 ページ

5

▲ ▼ で「住所録1」を選び 実行(進む) を押します。

初めて使用するときは下の確認画面が表示されます。

「はい」が選ばれていることを確認し 実行(進む) を押すと、宛名の登録画面が表示されます。

はがきの宛名印刷

② 姓名を入れる

1 名字(姓)をひらがなで入力します。

ここでは［え］［く］［゛］［ち］と押します。

・文字を入力する方法には、「かな入力」と「ローマ字入力」があります。本書では、「かな入力」を例に説明しています。
「ローマ字入力」に切り替える ➜
取扱説明書「応用編」166 ページ

入力する文字種を切り替えるときは

現在入力できる文字種

［ひらがな カタカナ］や［英字 大/小］を押すごとに、入力できる文字の種類を切り替えることができます。

・［ひらがな カタカナ］：ひらがな ⟷ カタカナ
・［英字 大/小］：英大文字 (ABC) ⟷ 英小文字 (abc)
・数字はどの状態でも入力できます。

2 ［変換］を押して、漢字に変換します。

「江口」と変換されます。

3 ［実行(進む)］を押します。

「江口」が確定されます。

4 ［▼］を押して名前(名)を入力します。

ここでは［よ］［う］［い］［ち］と押します。

入力した文字を削除したいときは

［後退］：1つ前の文字を削除できます。
［削除］：カーソル上の文字を削除できます。

5

〔変換〕を何度か押して、目的の漢字に変換し、〔実行(進む)〕を押します。

〔変換〕を押すごとに、「よういち」に当てはまる候補が順次、表示されます。

〔実行(進む)〕を押すと、「陽一」が確定されます。

姓	江口・・・
名	陽一■・・・・・・
読み	えぐち・・・・・
敬称	様・
連名	・・・・・・・・・
敬称	様・
〒	・・・・・・・
住所	・・・・・・・・・・・・・・・・・

↓ひらがな 取消し(戻る) プレビュー 実行(進む) ◀▶▲▼

6

〔▼〕を2回押して、「読み」と「敬称」を確認します。

姓	江口・・・
名	陽一・・・・・・・
読み	えぐちよういち・
敬称	様・
連名	・・・・・・・・・
敬称	様・
〒	・・・・・・
住所	・・・・・・・・・・・・・・・

↓ひらがな 取消し(戻る) プレビュー 実行(進む) ◀▶▲▼

読み（自動的に入ります）・敬称

- 宛名は「読み」をもとに 50 音順に並び替えられて登録されます。
- 「敬称」を変更する

➔取扱説明書「応用編」66 ページ

続いて「連名」なども入力できます。

➔取扱説明書「応用編」65 ページ

目的の漢字に変換されないときは

難しい漢字や珍しい固有名詞など、〔変換〕を押しても、目的の漢字に変換されないときは、〔単漢字〕キーで1文字ずつ漢字を変換することができます。

➔取扱説明書「応用編」47 ページ

③ 郵便番号と住所を入力する

1

〔▼〕を３回押して郵便番号を入力します。

ここでは〔1〕〔1〕〔0〕〔0〕〔0〕〔0〕〔8〕と押します。

- 郵便番号の〔－〕は入力不要です。

姓	江口・・・
名	陽一・・・・・・・
読み	えぐちよういち・
敬称	様・
連名	・・・・・・・・・
敬称	様・
〒	1100008
住所	・・・・・・・・・・・・・・・

↓ 取消し(戻る) プレビュー 実行(進む) ◀▶▲▼

2

〔▼〕(または〔変換〕)を押すと、郵便番号に対応した住所が自動的に入ります(**郵便番号辞書機能**)。

「東京都台東区池之端」と表示されます。

敬称	様・
連名	・・・・・・・・・
敬称	様・
〒	1100008
住所	東京都台東区池之端■・・・・・
	・・・・・・・・・・・・・・・
	・・・・・・・・・・・・・・・
[会社]	・・・・・・・・・・・・・・・

⇅ひらがな 取消し(戻る) プレビュー 実行(進む) ◀▶▲▼

宛名を登録する（住所録の作成）（つづき）

3 住所の続きを入力します。

・住所が長い場合には、途中で行を変えて（改行）入力します。

ここでは 8 − 3 2 改行 と押します。

改行され、2行目の先頭にカーソルが移動します。

4 住所の2行目を入力します。

・カタカナを入れる場合は、ひらがな/カタカナを押して入力モードを切り替えてから入力します。

ここでは ひらがな/カタカナ す た 長音 ま ん し シフト/かな小 よ ん 1 0 2 と押します。

・長音（ー）と −（ハイフン）を間違えないように注意してください。

・続いて「電話番号」も入力できますがここでは省略します。

➔取扱説明書「応用編」67ページ

住所は区切りの良いところで改行を！

改行をする／しないによって印刷の仕上がりは変わるので、キリのいい所で改行してください。

改行していない印刷例　　改行した印刷例

会社・部署宛ての宛名を作りたい

次のように入力します。

- 住所 1 行目：東京都渋谷区本町1−6−2 改行
- 住所 2 行目：何も入力せず 改行
- 住所 3 行目：カシオ計算機（株） 改行
- 住所 4 行目：販売促進部　課長

（株）：英字/大小 あ㈱ と押して入力

・会社宛ての宛名の場合は、会社名を住所の4行目に入力します。

④ 入力した宛名を登録する

1

[実行(進む)]を押します。

登録の確認メッセージが表示されます。

2

[◀]を押して「はい」を選び、[実行(進む)]を押します。

宛名が登録されてメッセージが表示されたあと、下のように表示されます。

3

続けて宛名を入力する場合は「はい」を、入力を終わる場合は「いいえ」を選びます。

ここでは[▶]を押して「いいえ」を選びます。

4

[実行(進む)]を押します。

宛名の一覧表示になります。

登録した宛名の「修正」や「削除」をする場合は

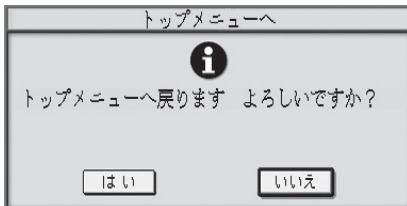
宛名の一覧表示（手順4の画面）で[機能]を押します。

「宛名の修正」、「宛名の削除」の項目が表示されます。

詳しくは ➜ 取扱説明書「応用編」71、72ページ

差出人を登録する

① 差出人を入れる準備をする

1 [トップメニュー] を押します。

確認メッセージが表示されます。

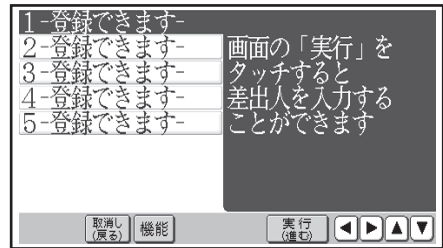
2 ◀ を押して「はい」を選び、[実行(進む)] を押します。

トップメニュー画面が表示されます。

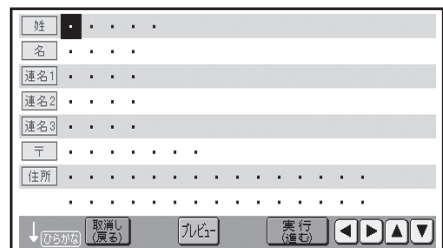
3 ▲ ▼ ◀ ▶ で「宛名」を選び、[実行(進む)] を押します。

宛名メニューが表示されます。

4 ◀ ▶ で「差出人登録」を選び、[実行(進む)]を押します。

差出人表示画面が表示されます。

- 差出人は 5 人まで登録することができます。
  詳しくは　➔取扱説明書「応用編」74 ページ
- ここでは「1」に差出人を登録します。

5 ▲ ▼ で「1」を選び [実行(進む)] を押します。

差出人を入れる画面になります。

操作を間違えたときは

[取消し(戻る)] を押すと、1 つ前の画面に戻ります。

② 姓名を入れる

1 名字(姓)をひらがなで入力します。

ここでは [なZ] [か!] [やY] [ま&] と押します。

2 [変換]を押して、漢字に変換します。

「中山」と変換されます。

3 [実行(進む)]を押します。

「中山」が確定されます。

4 [▼]を押して名前(名)を入力します。

ここでは [ひヶ] [ろ:] [しW] と押します。

5 [変換]を押して、漢字に変換します。

「博」と変換されます。

6 [変換](または[▼])を何回か押して、目的の漢字(浩)が表示されたら、[実行(進む)]を押します。

「浩」が確定されます。

・名前の入力後、「連名」なども入れられます。

➔ 取扱説明書「応用編」74 ページ

差出人を登録する（つづき）

③ 郵便番号と住所を入力する

1 ▼を４回押して郵便番号を入力します。

ここでは 4 3 8 0 0 6 2 と押します。

姓 中山・・・
名 浩・・・
連名1 ・・・・
連名2 ・・・・
連名3 ・・・・
〒 4380062
住所 ・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・
↓ 取消し(戻る) プレビュー 実行(進む) ◀ ▶ ▲ ▼

2 ▼（または 変換 ）を押すと郵便番号に対応した住所が自動的に入ります（**郵便番号辞書機能**）。

「静岡県磐田市新島」と表示されます。

姓 中山・・・
名 浩・・・
連名1 ・・・・
連名2 ・・・・
連名3 ・・・・
〒 4380062
住所 静岡県磐田市新島■・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・
↓ ひらがな 取消し(戻る) プレビュー 実行(進む) ◀ ▶ ▲ ▼

3 住所の続きを入力します。

ここでは 2 2 − 4 7 と押します。

4 ▼を押して電話番号を入力します。

ここでは 0 0 − 0 6 5 3 − 3 2 1 0 と押します。

・続いて「メールアドレス」も入力できますがここでは省略します。

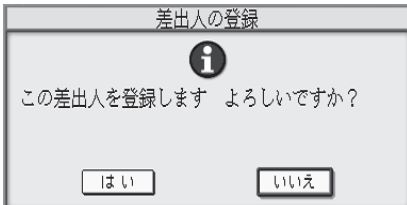
➜取扱説明書「応用編」76 ページ

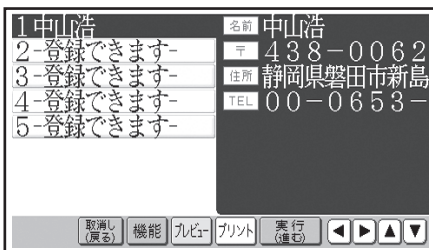
④ 入力した差出人を登録する

1

[実行(進む)] を押します。

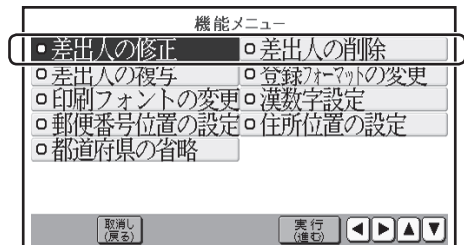
登録の確認メッセージが表示されます。

2

[◀]を押して「はい」を選び、[実行(進む)]を押します。

差出人が登録されて、差出人表示画面になります。

これで「差出人の入力」は完了です。

登録した差出人の「修正」や「削除」をする場合は

差出人表示画面（手順2の画面）で[機能]を押します。

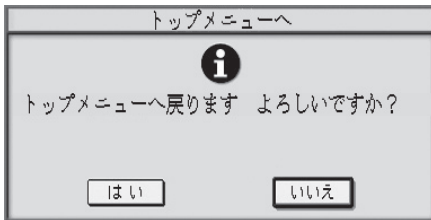
「差出人の修正」、「差出人の削除」の項目が表示されます。

詳しくは ➔ 取扱説明書「応用編」78、79 ページ

はがきの宛名印刷

印刷する

① 印刷する対象を決める

1 [トップメニュー] を押します。

確認メッセージが表示されます。

2 [◀] を押して「はい」を選び、[実行(進む)] を押します。

トップメニュー画面が表示されます。

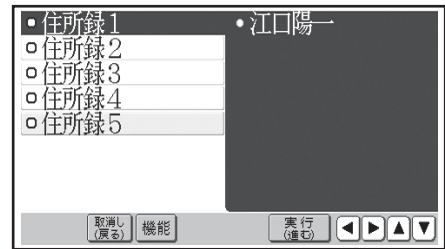
3 [▲] [▼] [◀] [▶] で「宛名」を選び、[実行(進む)] を押します。

宛名メニューが表示されます。

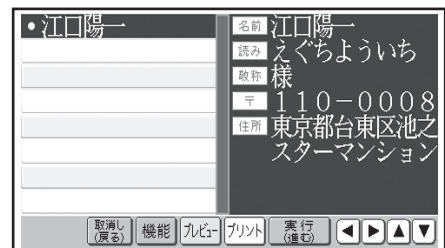
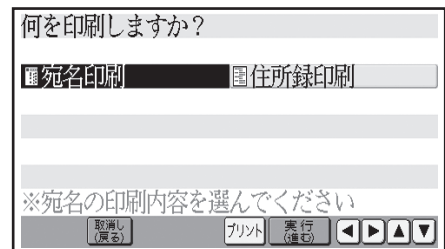
操作を間違えたときは

[取消し(戻る)] を押すと、1 つ前の画面に戻ります。

4 [◀] [▶] で「宛名」を選び、[実行(進む)] を押します。

住所録の選択画面になります。

5 [▲] [▼] で「住所録1」を選び [実行(進む)] を押します。

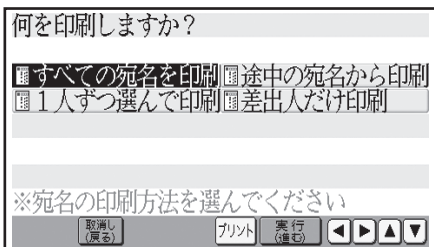
宛名の一覧表示になります。

6 [プリント] を押します。

宛名印刷メニューが表示されます。

② 印刷の設定を決める

7

◀▶で「宛名印刷」を選び、実行(進む)を押します。

宛名印刷の対象を選ぶ画面が表示されます。

8

▲▼◀▶ で「すべての宛名を印刷」を選び、実行(進む)を押します。

印刷設定の画面が表示されます。

- 「すべての宛名を印刷」「途中の宛名から印刷」「1 人ずつ選んで印刷」「差出人だけ印刷」などが選べます。
  詳しくは ➜ 取扱説明書「応用編」80 ～ 84 ページ

1

▲▼で項目を選び、◀▶で内容を選びます。

- 設定できる項目と内容については、下記の「印刷設定項目」をご覧ください。
- ここでは、このままの設定とします。

印刷設定項目

●用紙　：年賀はがき／普通はがき
- 「年賀はがき」は、宛名面の下が「お年玉くじ付き」の場合に指定します。
- 「暑中見舞い」のはがきで、くじ付きの場合も「年賀はがき」を指定してください。
- 通常の「郵便はがき」（郵便事業株式会社製）の場合は、「普通はがき」を指定します。

●差出人：差出人を複数入力しているときに、印刷する差出人を選択します。「印刷しない」に設定することもできます。

●マーク：宛名を分類するための目印です。
詳しくは ➜ 取扱説明書「応用編」88 ページ

●部数：通常は「01 部ずつ」でお使いください。
詳しくは ➜ 取扱説明書「応用編」81 ページ

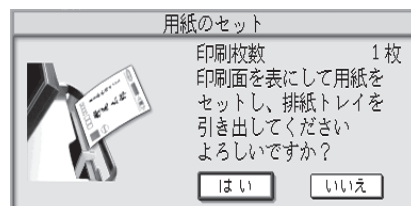
●フォーマット：縦書き／横書き（宛名の印刷方向の選択）

●フォント：毛筆流麗体→毛筆楷書体→ゴシック体→丸ゴシック体→ 明朝体の 5 種類から選択します。

●濃度　：1 ～ 5（数値が大きいほど濃く印刷されます）

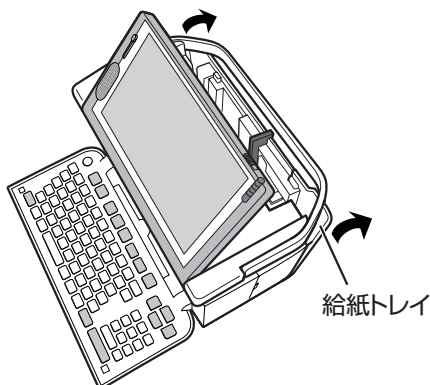
2

実行(進む)を押します。

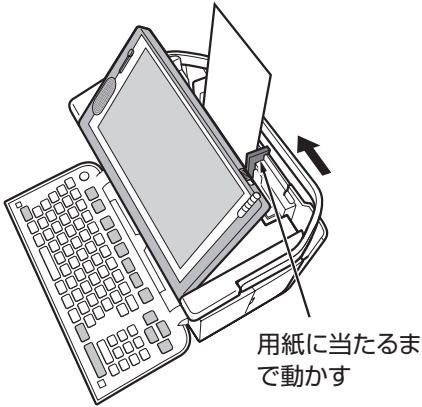
用紙セットの確認画面が表示されます。

③ 用紙をセットする

用紙セットの前に

- はがきに印刷する前に、まず付属の「はがきサイズ用紙」で試し印刷してみることをおすすめします。
- 一度にセットできる枚数について
  - 郵便はがきの厚さの場合で「20 枚まで」です（印刷枚数は 99 枚まで設定可能です）。
  - 「インクジェット紙光沢年賀郵便はがき」は 1 枚ずつセットしてください。
  - 市販の「フォト光沢はがき」で用紙どうしが貼り付きやすい場合は、1枚ずつセットしてください。
- 写真店などで注文することができる「写真付きポストカード」（郵便はがきに写真が貼り付けられているもの）の宛名面への印刷はできません。紙詰まりや故障の原因となりますので使用しないでください。
- 用紙は、必ず、印刷停止中にセットしてください。印刷中に用紙の出し入れは行わないでください。故障の原因になります。
- 用紙どうしが静電気の影響などではりついているときは、間に空気を入れるなどしてからセットするか、1 枚ずつ印刷してください。

1 給紙トレイを開きます。

2 用紙ガイドを右側に拡げます。

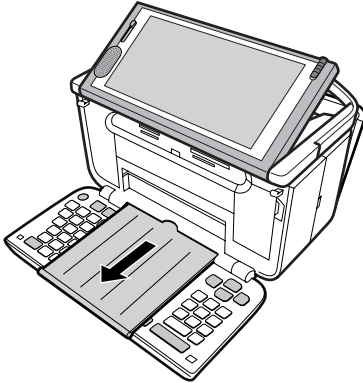
3 印刷面を表側にして、軽く止まるまで差し込みます。

用紙の左端を挿入口の左端に沿わせて挿入します。

4 用紙ガイドを用紙に当たるまで左側にスライドさせます。

④ 印刷をする

1 排紙トレイを引き出します。

2 「はい」が選ばれていることを確認し、[実行(進む)]を押します。

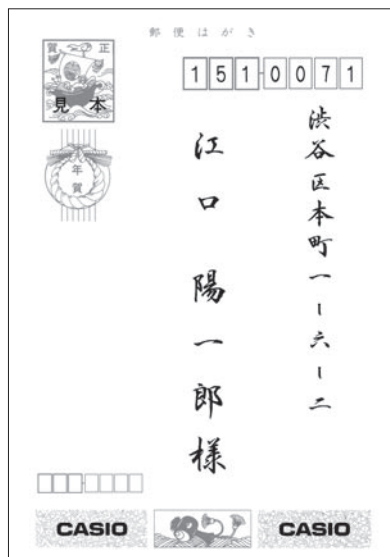
「印刷中です・・・」と表示され、印刷が始まります。

3 印刷が終わったら、排紙トレイを戻します。

重要 キーボードを閉じる前に、必ず排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。
排紙トレイを出したまま、キーボードを閉じると故障の原因となります。

次ページでは、用途に合わせたいろいろな宛名印刷をご紹介しています。

お役立ち情報

用途に合わせていろいろな宛名印刷ができます。

差出人を印刷しない

・23 ページ手順 1 の印刷設定で、「差出人：印刷しない」にしてください。

差出人のみ印刷する

・宛名を印刷しないで、差出人名だけを印刷したいときは、23 ページの手順 8 で「差出人だけ印刷」を選びます。

都道府県を省略したい

・郵便番号辞書の入力で都道府県を省略することもできます ➔ 取扱説明書「応用編」96 ページ

郵便番号の印刷位置を調整したい

宛名の郵便番号位置がずれた例

取扱説明書「応用編」92 ページ

差出人の郵便番号位置の調整は
➜ 取扱説明書「応用編」93 ページ

宛名の文字の大きさを変えたい

宛名面の文字の大きさは、本機では変更することはできません（自動的に調整されます）。
宛名に余分な空白が入力されている場合は、空白を削除してください。

宛名や差出人の
確認・修正・削除などをしたい

取扱説明書「応用編」69 ～ 72、77 ～ 79 ページをご覧ください。

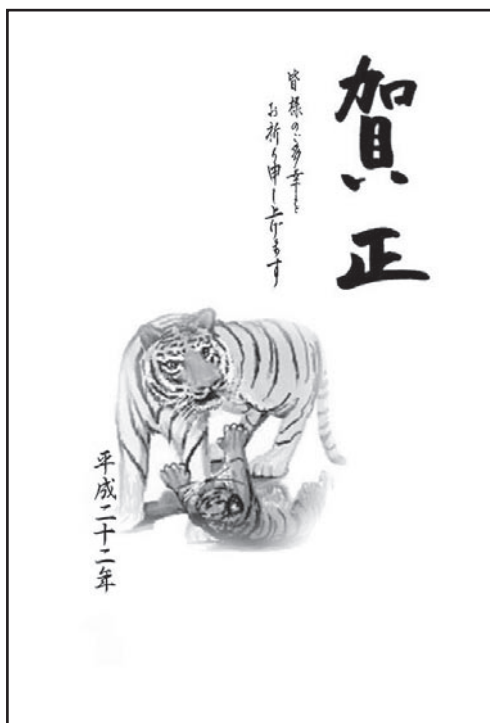
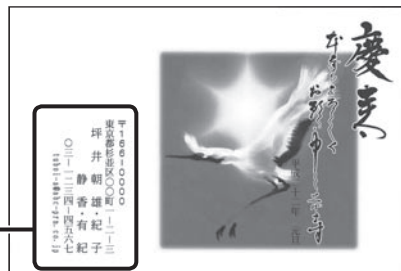
はがきの文面印刷

ここでは、文面の作成から印刷までを説明します。

文面作成（カンタン作成）の種類

本機に登録されているデザインを選ぶだけで、簡単に文面を作ることができる機能を「カンタン作成」といいます。カンタン作成には、「イラスト入りの文面」と「写真入りの文面」があります。

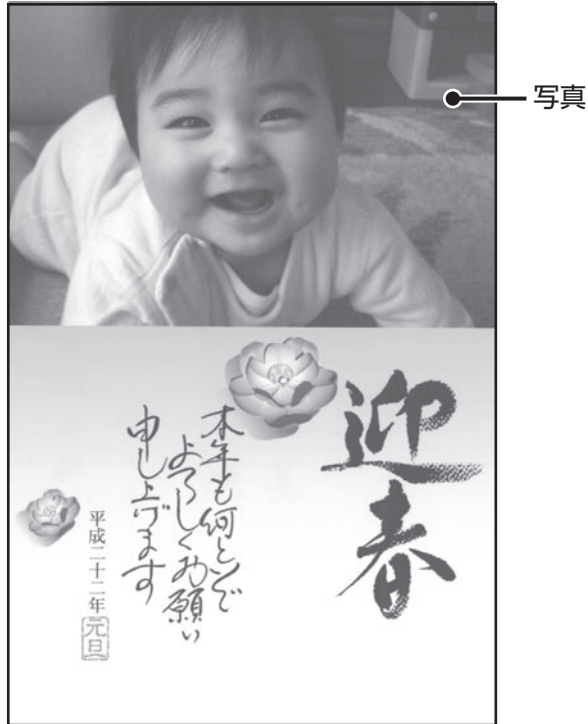
イラスト入りの文面

イラスト入りのデザインを選ぶだけで、カンタンに作ることができます。 ➔ 30 ページ

差出人入りのデザインも選べます！

➔ 取扱説明書「応用編」102 ページ

写真入りの文面

デザインを選んで写真を入れます。 ➜ 33 ページ

ポイント

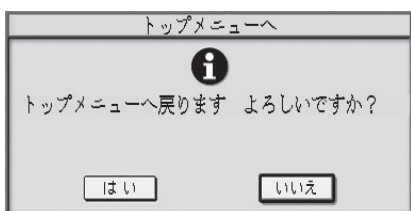
写真のデータが入ったメモリーカードが必要です。

差出人入りのデザインも選べます！

➜ 取扱説明書「応用編」102 ページ

● 文面作成には「カンタン作成」以外にも、見出しやイラストを選んで作る「組み合わせ作成」や自由に文字を入力して作る「オリジナルはがき作成」があります。 ➜ 取扱説明書 「応用編」104、114ページ

イラスト入りの文面を作る

① 印刷するデザインを選ぶ

1

［トップメニュー］を押します。

確認メッセージが表示されます。

2

［◀］を押して「はい」を選び、［実行（進む）］を押します。

トップメニュー画面が表示されます。

3

［▲］［▼］［◀］［▶］で「文面」を選び、［実行（進む）］を押します。

文面メニューが表示されます。

操作を間違えたときは

［取消し（戻る）］を押すと、1 つ前の画面に戻ります。

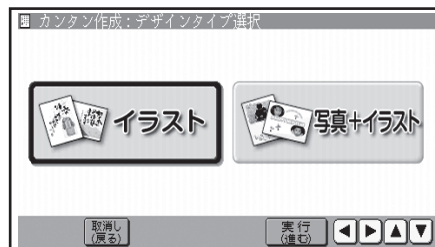
4

［▲］［▼］［◀］［▶］で「カンタン作成」を選び、［実行（進む）］を押します。

ジャンル選択画面が表示されます。

5

［▲］［▼］［◀］［▶］で「年賀状」を選び、［実行（進む）］を押します。

デザインタイプ選択画面が表示されます。

6

［◀］［▶］で「イラスト」を選び、［実行（進む）］を押します。

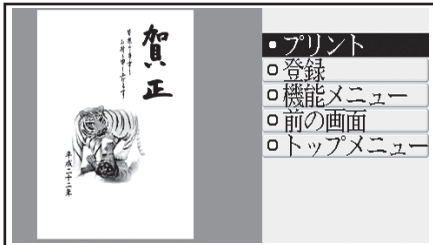
デザイン選択画面が表示されます。

・本機では、「干支」のイラストやデザインは、十二支すべてを内蔵しています。
詳しくは　➜「デザインカタログ」

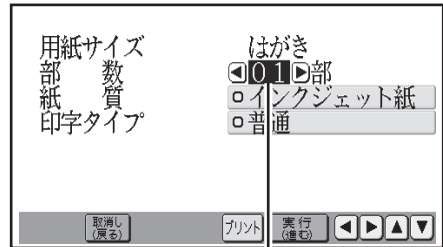
② 印刷の条件を決めて、印刷をする

7

▲▼◀▶でイラスト入りのデザインを選び、実行(進む)を押します。

選んだデザインの完成画面が表示されます。

1

プリントを押します。

印刷設定の画面が表示されます。

現在、選ばれている項目

2

▲▼で項目を選び、◀▶で内容を選びます。

- 設定できる項目と内容については、下記の「印刷設定項目」をご覧ください。
- ここでは、このままの設定とします。

手順6の画面で、「差出人可」と表示されているデザインでは、文面に差出人を入れることができます。 ➔ 取扱説明書「応用編」102 ページ

差出人を入れられるデザインであることを示します。

「差出人可」のデザインで、差出人を入れたくない場合は、次の操作を行ってください。

- 手順6で実行(進む)を押した後に表示される画面で、▲▼で「▫ 差出人を入れない」を選び実行(進む)を押します。

印刷設定項目

●用紙サイズ：
「はがき」固定になり、選ぶことはできません。

●部数：
1 ～ 99 部
同じ文面を何枚印刷するかを指定します。

●紙質：
プリントする用紙の種類を指定します。
フォト光沢紙 / インクジェット紙 / 普通紙

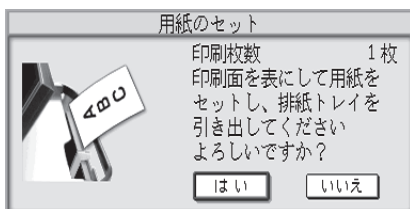
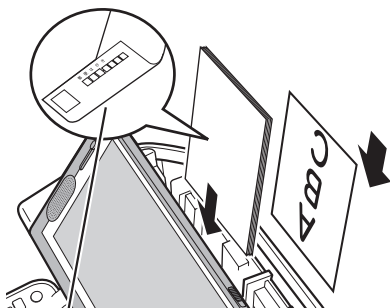
●印字タイプ：
美しく印刷したいか、早く印刷したいかを指定します。
高精細（より美しく印刷）/ 普通 / 高速（すばやく印刷）
「高精細」は時間がかかりますが、より美しく印刷することができます。

イラスト入りの文面を作る（つづき）

3

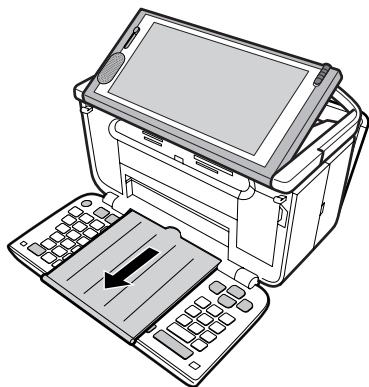
実行(進む) を押します。

用紙セットの確認画面が表示されます。

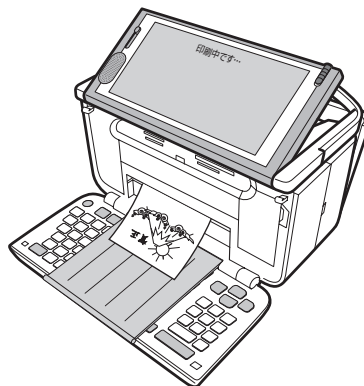
4

はがきサイズの用紙を印刷面を表側にしてセットします。

郵便番号枠の面を裏側にして、
下向きにセットします

- 用紙のセット方法
  ➜ 取扱説明書「応用編」23 ページ

5

排紙トレイを引き出します。

6

「はい」が選ばれていることを確認し実行(進む)を押します。

「印刷中です・・・」と表示され、印刷が始まります。

7

印刷が終わったら、排紙トレイを戻します。

重要 キーボードを閉じる前に、必ず排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。
排紙トレイを出したまま、キーボードを閉じると故障の原因となります。

写真入りの文面を作る

選んだデザインにデジタルカメラで撮った写真を入れて、文面を作ることができます。
ここでは、下のはがきを例に説明します。

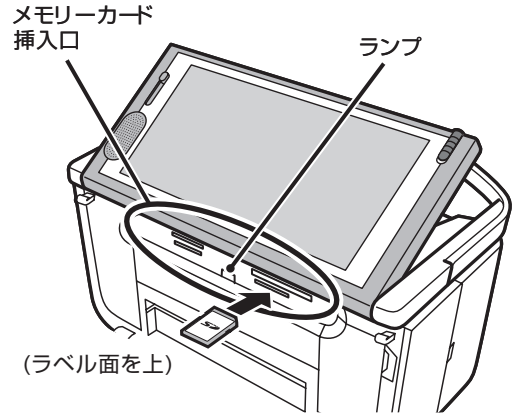
用意するもの

あらかじめ以下のものを用意しておいてください。

写真入りの文面を作る（つづき）

① メモリーカードをセットする

1 メモリーカード（写真のデータが記録されているもの）を、本機の対応する挿入口に差し込みます。

- メモリーカードが正しくセットされると、ランプが点灯します。
- メモリーカードにアクセス中は、ランプが点滅します。

使用できるメモリーカード

メモリーカード	最大容量	対応する挿入口
コンパクトフラッシュ（TYPE I/TYPE II）※3	8GB	コンパクトフラッシュ
メモリースティック※1	128MB	メモリースティック・メモリースティックDuo
メモリースティックPRO※1	4GB	
メモリースティックデュオ※1	128MB	
メモリースティックPRO デュオ※1	4GB	
SDメモリーカード	2GB	SD・SDHC・マルチメディアカード
miniSDメモリーカード※2	2GB	
microSDメモリーカード※2	2GB	
SDHCメモリーカード	8GB	
マルチメディアカード	1GB	
xD-ピクチャーカード	512MB	xD-ピクチャーカード
xD-ピクチャーカード Type M	2GB	
xD-ピクチャーカード Type H	2GB	
xD-ピクチャーカード Type M+	2GB	

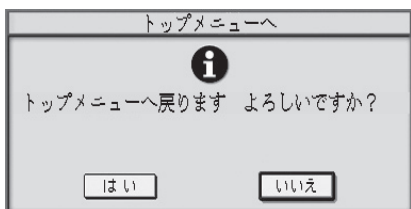
※１　マジックゲート機能が必要なデータは扱えません。
※２　SD アダプターに取り付けたあと、本機に挿入してください。
※３　UDMA 対応のコンパクトフラッシュカードは対応していません。

ポイント

SD アダプターは、市販品を使用してください。また、SD アダプターへの取り付けは以下のようにしてください。

• その他、メモリーカードの詳細については、取扱説明書「応用編」28 ページをご覧ください。

② 印刷するデザインを選ぶ

1 トップメニュー を押します。

確認メッセージが表示されます。

2 ◀ を押して「はい」を選び、実行(進む)を押します。

トップメニュー画面が表示されます。

3 ▲▼◀▶で「文面」を選び、実行(進む)を押します。

文面メニューが表示されます。

操作を間違えたときは

取消し(戻る) を押すと、1 つ前の画面に戻ります。

4 ▲▼◀▶で「カンタン作成」を選び、実行(進む)を押します。

ジャンル選択画面が表示されます。

5 ▲▼◀▶で「年賀状」を選び、実行(進む)を押します。

デザインタイプ選択画面が表示されます。

6 ◀▶で「写真＋イラスト」を選び、実行(進む)を押します。

写真を入れることができるデザインの選択画面になります。

見本の写真の部分にお好きな写真を入れることができます。

はがきの文面印刷

7

▲▼◀▶でデザインを選び、実行(進む)を押します。

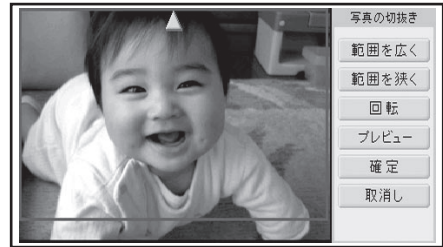
メモリーカード内の写真が表示されます。

・画面にエラーが表示されたときは、メモリーカードをしっかり差し込み直してください。

③ 文面に入れる写真を選ぶ

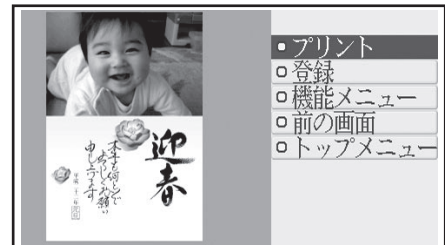
1

▲▼◀▶で文面に入れる写真を選び、実行(進む)を押します。

写真の範囲、向き、位置などを調整する画面が表示されます。

・写真の範囲、向き、位置などの調整方法 ➔ 取扱説明書「応用編」101 ページ
・写真 2 枚入りのデザインを選んだ場合には、手順 1 の操作を繰り返します。

2

実行(進む)を押します。

写真が入った完成画面が表示されます。

3

印刷の条件を決めて、印刷をします。

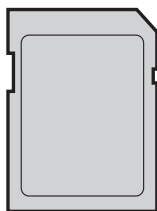
操作は、「イラスト入りの文面を作る」と同じです。➔ 31 ページ「印刷の条件を決めて、印刷をする」

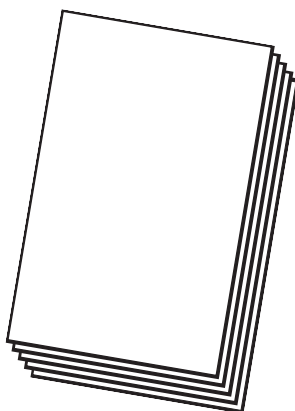
写真の印刷

用意するもの

あらかじめ以下のものを用意しておいてください。

メモリーカード

（写真のデータが記録されているもの）

印刷用紙

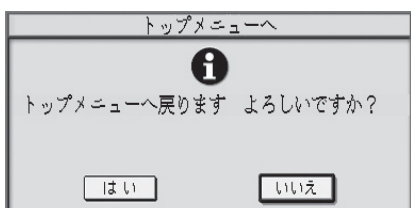
- 「L判フォト光沢用紙」を使います。

写真を印刷する

① 印刷する写真を選ぶ

1 メモリーカードをセットします。

メモリーカードのセット方法➔ 34 ページ

2 [トップメニュー] を押します。

確認メッセージが表示されます。

3 [◀] を押して「はい」を選び、[実行(進む)]を押します。

トップメニュー画面が表示されます。

操作を間違えたときは

[取消し(戻る)] を押すと、1 つ前の画面に戻ります。

4 [▲][▼][◀][▶]で「デジタル写真プリント」を選び、[実行(進む)]を押します。

デジタル写真メニューが表示されます。

5 [▲][▼][◀][▶]で「選んでプリント」を選び、[実行(進む)]を押します。

メモリーカードの内容が表示されます。

- 画面にエラーが表示されたときは、メモリーカードをしっかり差し込み直してください。

6 [▲][▼][◀][▶]で印刷する写真を選び、[実行(進む)]を押します。

印刷する枚数の数字が反転表示になります。

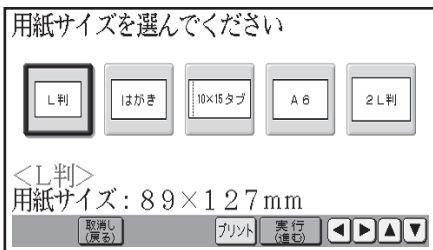
7 ◀▶で印刷する枚数を選び、実行(進む)を押します。

枚数が確定されます。

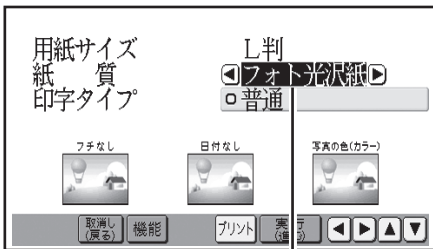
別の写真も印刷したいときは、手順 6 ～ 7 を繰り返します。

② 印刷の条件を決める

1 プリントを押します。

用紙の選択画面が表示されます。

2 ◀▶で印刷したい用紙を選び、実行(進む)を押します。

ここでは「L 判」を選びます。

印刷設定の画面が表示されます。

現在、選ばれている項目

3 ▲▼で項目を選び、◀▶で内容を選びます。

- 設定できる項目と内容については、下記の「印刷設定項目」をご覧ください。

印刷設定項目

●用紙サイズ：

手順 2 で選んだ用紙サイズが表示されます。

●紙質：

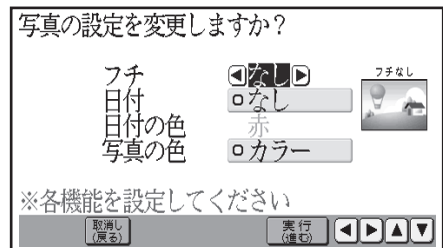
プリントする用紙の種類を指定します。

フォト光沢紙 / インクジェット紙 / 普通紙

●印字タイプ ：

美しく印刷したいか、早く印刷したいかを指定します。
高精細（より美しく印刷）/ 普通 / 高速（すばやく印刷）
「高精細」は時間がかかりますが、より美しく印刷することができます。

4 機能を押します。

印刷の詳細設定の画面が表示されます。

5 ▲▼で項目を選び、◀▶で内容を選びます。

「フチ」の有無の設定

写真の色の指定　　「日付」の有無／色の指定

- 詳細設定項目

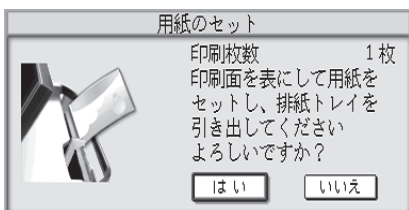
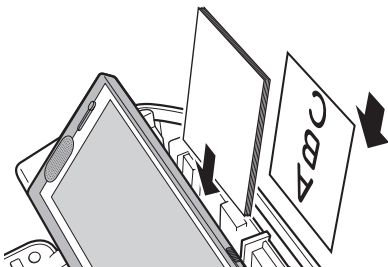
➔ 取扱説明書「応用編」132 ページ

写真の印刷

6 実行(進む)を押して、詳細設定の項目を確定します。

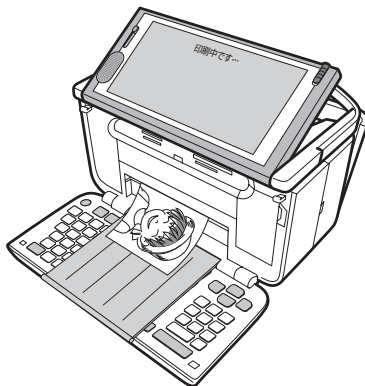
手順 2 の画面に戻ります。

7 実行(進む)を押します。

用紙セットの確認画面が表示されます。

8 用紙の印刷面を表側にしてセットします。

・用紙のセット方法
➜ 取扱説明書「応用編」23 ページ

9 排紙トレイを引き出します。

9 「はい」が選ばれていることを確認し実行(進む)を押します。

「印刷中です・・・」と表示され、印刷が始まります。

10 印刷が終わったら、排紙トレイを戻します。

重要 キーボードを閉じる前に、必ず排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。
排紙トレイを出したまま、キーボードを閉じると故障の原因となります。

そのほかにできること（写真の印刷）

インデックスプリント

メモリーカードの中にある写真の一覧が印刷できます。

➔ 取扱説明書「応用編」 146 ページ

コメントプリント

写真に文字や手書き、スタンプを入れて印刷できます。

➔ 取扱説明書「応用編」 138 ページ

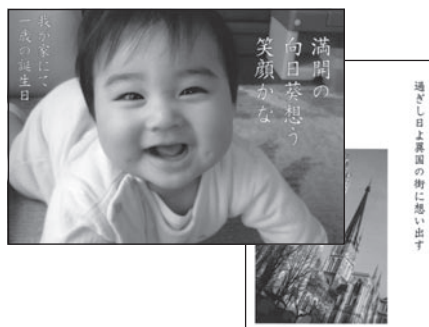
シールプリント

写真にフレームをつけてシールとして印刷できます。

➔ 取扱説明書「応用編」 152 ページ

写真俳句

俳句を入れて写真を印刷できます。

➔ 取扱説明書「応用編」 147 ページ

写真カレンダー

写真を入れてカレンダーを印刷できます。

➔ 取扱説明書「応用編」 133 ページ

カシオ計算機株式会社
〒151-8543　東京都渋谷区本町1-6-2

別売品は、当社の商品を扱っている、お近くの文房具店、電器店でお買い求めいただけます。

MO0906-A
Printed in China